

松島王墓古墳(上伊那郡箕輪町)

まつしまおうはか

標柱に「火伏の霊神正一位秋葉三尺坊大権現生誕の地」深澤鎮火社参道とある



右手が参道



前方が松島王墓古墳/右手の参道に進む





左手に前方後円墳が見える/左手が前方部/6世紀中頃から後半にかけての築造





右手前が後円部



「長野県史跡松島王墓古墳」と記された石碑



長野県指定史跡

松島王墓古墳

この古墳は、前方後円墳として上伊那唯一のものである。また、車塚形式（中央のくびれた部分の両側に造り出しがある）で、県下唯一のものとして知られている。

一 規 模 全長六十m 後円部直径三十m

高さ十・六m

前方部幅四十五m 高さ十一m

墳丘の北側には、幅約十mの

周溝が存在

一 築造年代 六世紀中頃から後半にかけて

（後期古墳）

一 伝説上被葬者 敏達天皇の皇子頼勝親王

一 調査の経過 未調査古墳、主体部は後円部で横穴式石室の形式と推定する

一 出土遺物等 形象埴輪及び円筒埴輪・須恵器

・ 坏など多数

北部伊那谷を代表する古墳として、当地の古代史研究には重要な意味を持つものであり、大切な文化財として後世に伝えなければならぬ。

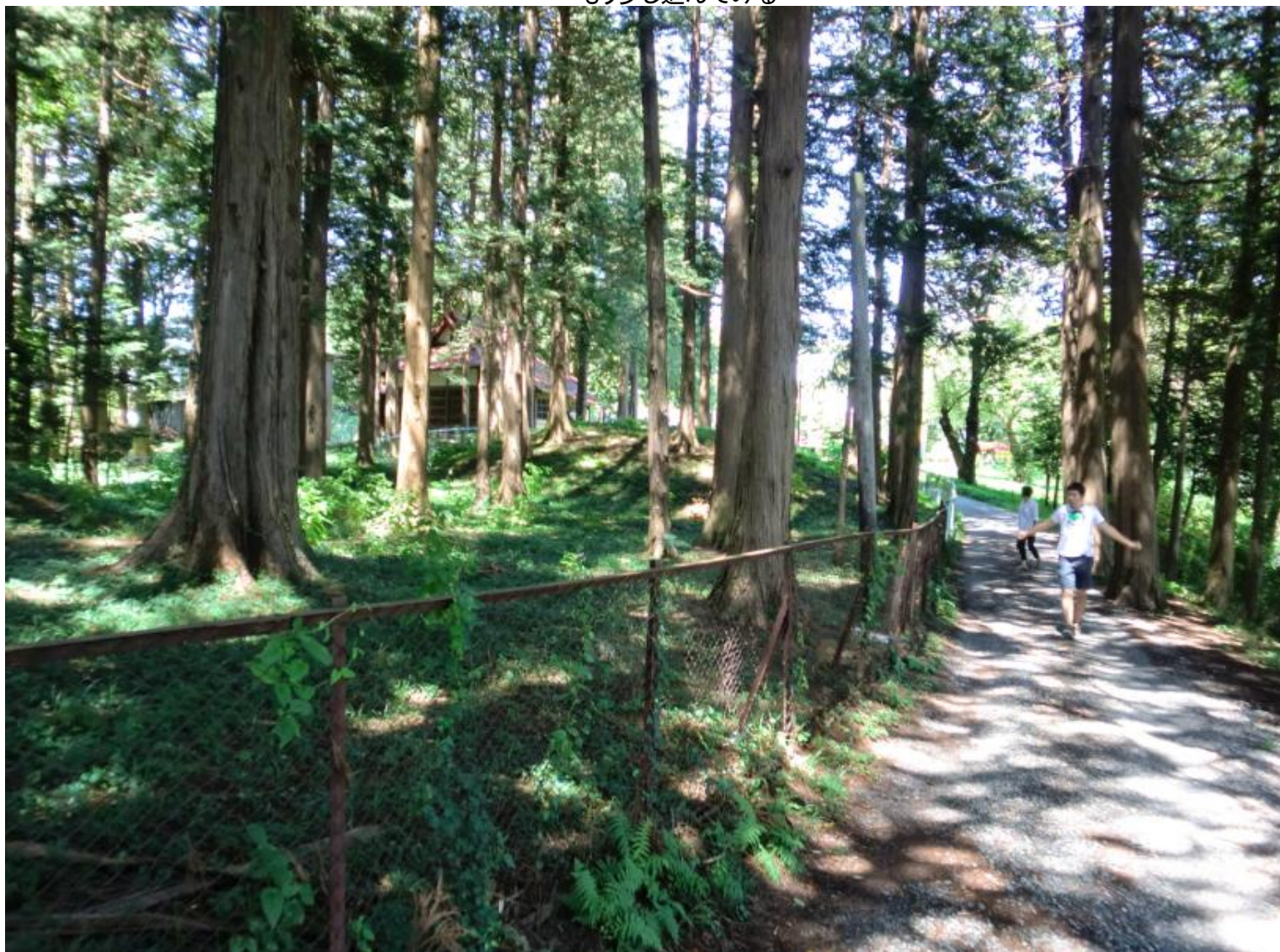
箕輪町教育委員会



石碑には「深澤鎮火大神」とある



もう少し進んでみる



振り返って前方に後円部、右手奥に前方部を見る/右手前の斜面は側にある円墳



アップで見る/左手前が後円部、右手奥が前方部



側にある円墳(陪塚か?)





フェンスで囲まれていて中に入れない



左手が後円部、右手が前方部



昭和46年に再建された三尺坊堂宇



秋葉三尺坊由來

秋葉三尺坊は室町時代にこの地にお生れ
になり聡明にて七才より僧となり参禪修業
に遍歴をなされ鎮防火燭の奥秘を極め藏王
堂内通寺可睡斎等火伏の靈神として守護を
致され愛知県の可睡斎にも祀られて居ります。
其の後盛衰があり秋葉大権現として王墓
明音寺深澤鎮火社と深い由緒の中に長歴
史を辿りて参りました。

明治末から大正の初に松島区内に火災が
頻発して区民が安らかならず時に明音寺二
十四世徳順和尚の発願で三尺坊堂宇を再
建致し厚く祀り五十有余年を経て昭
和四十六年区民の淨賊で營繕を致しました。
此の間火災至極少く火伏の靈神として靈
驗あらたかた今日迄参りて居ります。

昭和四十六年十一月

松島区

さまざまな石造物



道路側から見てみる



左手が前方部、右手が後円部





参考ホームページ

<http://sgkohun.world.cocacn.jp/nagano/minowa/matusima.html>



インターネットより



インターネットより